



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4220 URL <https://www.rikenteknos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 59,527 | 16.8 | 3,498 | 13.7 | 4,040 | 22.1 | 2,377 | 11.2 |
| 2022年3月期第2四半期 | 50,965 | 25.6 | 3,076 | 83.9 | 3,307 | 90.4 | 2,137 | 163.3 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,555百万円(61.5%) 2022年3月期第2四半期 3,439百万円(158.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 37 | 64 | — | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 33 | 90 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 112,265 | 69,767 | 54.2 |
| 2022年3月期 | 102,641 | 65,448 | 56.3 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 60,842百万円 2022年3月期 57,762百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2022年3月期 | — | 8.00 | — | 11.00 | 19.00 | |
| 2023年3月期 | — | 9.00 | — | — | — | |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 14.00 | 23.00 | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2022年10月31日)公表いたしました「2023年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|-----------------|-----|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 125,000 | 13.7 | 7,100 | 12.8 | 7,600 | 10.3 | 4,000 | 1.5 | 63 | 28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2022年10月31日)公表いたしました「2023年3月期 第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期2Q | 64,113,819株 | 2022年3月期 | 64,113,819株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2023年3月期2Q | 904,301株 | 2022年3月期 | 973,846株 |
|------------|----------|----------|----------|

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年3月期2Q | 63,174,340株 | 2022年3月期2Q | 63,064,203株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当期四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (追加情報) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の一部に弱さがみられるものの個人消費が緩やかに持ち直しており、総じて持ち直しの動きが続きました。

海外では、物価上昇や金融引き締めの影響などを受けて一部に足踏みがみられるものの、総じて持ち直しの動きとなりました。

産業別では、自動車市場は海外で半導体不足および上海ロックダウンの影響等があり自動車生産台数は減少、国内建材市場は住宅着工件数が前年並みで推移し、国内の家電市場は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは中期経営計画「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」の初年度として、「グローバル経営の深化とシナジー」「顧客の期待の先を行く」「新規事業／新製品への挑戦」「環境／社会課題解決への貢献」の4つの戦略の具体的な取り組みを行ってまいりました。

その結果、売上高は59,527百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)16.8%増)、営業利益は3,498百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益は4,040百万円(前年同期比22.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,377百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各報告セグメントの名称、略称、対象とする主要な市場は、以下のとおりであります。

- ・トランスポーターション(Transportation)[TR]…自動車、鉄道、船舶市場等
 - ・デイリーライフ&ヘルスケア(Daily Life & Healthcare)[DH]…医療、生活資材、食品包材市場等
 - ・エレクトロニクス(Electronics)[EL]…エネルギー、情報通信、IT機器市場等
 - ・ビルディング&コンストラクション(Building & Construction)[BC]…住宅、ビル、建築資材、土木市場等
- (注)[]は、報告セグメントの略称

<トランスポーターション>

国内では、自動車生産は横ばいとなったものの、原材料価格高騰に伴う製品価格への転嫁もあり増収となりました。

海外では、半導体不足や上海ロックダウン等による自動車減産の影響は受けたものの、拡販が進み増収となりました。

セグメント利益につきましては、国内・海外での販売が増加したことにより増益となりました。

その結果、売上高は17,661百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益は1,726百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

<デイリーライフ&ヘルスケア>

国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、生活資材市場向けエラストマーコンパウンドの拡販及び食品包材市場での小巻ラップの販売増加により、増収となりました。

海外では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、米国・ASEANでの生活資材市場向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

セグメント利益につきましては、原材料価格の高騰による影響があり減益となりました。

その結果、売上高は16,219百万円(前年同期比23.8%増)、セグメント利益は497百万円(前年同期比50.7%減)となりました。

<エレクトロニクス>

国内では、電力・産業電線、情報通信市場向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

海外では、ASEANを中心にした塩ビコンパウンドの販売増加に加えて、ASEAN・中国における車載用遮熱フィルムの拡販も進み、増収となりました。

セグメント利益につきましては、国内及び海外での販売が増加したことにより、増益となりました。

その結果、売上高は12,022百万円(前年同期比19.0%増)、セグメント利益は542百万円(前年同期比163.5%増)となりました。

<ビルディング&コンストラクション>

国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、住宅市場・非住宅市場へのコンパウンドの販売が進み、増収となりました。

海外では、ASEAN・米国でのコンパウンドの販売、米国でのフィルムの販売が増加し、増収となりました。

セグメント利益につきましては、国内及び海外での販売が増加したことにより増益となりました。

その結果、売上高は13,581百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益は668百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は112,265百万円(前連結会計年度末比9,623百万円増加)となりました。これは主に現金及び預金、売掛金等の売上債権、商品及び製品等の棚卸資産が増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は42,497百万円(前連結会計年度末比5,304百万円増加)となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は69,767百万円(前連結会計年度末比4,318百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金と為替換算調整勘定が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2022年5月2日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期 第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,702,615 | 23,576,689 |
| 受取手形 | 1,785,477 | 1,435,915 |
| 売掛金 | 21,413,866 | 23,225,781 |
| 電子記録債権 | 3,145,045 | 3,464,596 |
| 商品及び製品 | 9,159,195 | 11,078,817 |
| 仕掛品 | 621,167 | 983,589 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,623,661 | 8,947,254 |
| その他 | 751,067 | 894,090 |
| 貸倒引当金 | △83,600 | △83,951 |
| 流動資産合計 | 65,118,496 | 73,522,781 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 9,915,598 | 10,757,307 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 7,902,898 | 8,492,588 |
| 土地 | 6,331,829 | 6,482,691 |
| リース資産（純額） | 40,319 | 35,948 |
| 建設仮勘定 | 364,622 | 946,979 |
| その他（純額） | 581,602 | 617,188 |
| 有形固定資産合計 | 25,136,870 | 27,332,705 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 7,275 | 6,547 |
| リース資産 | 588 | - |
| その他 | 2,098,602 | 2,233,069 |
| 無形固定資産合計 | 2,106,466 | 2,239,617 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,905,371 | 6,672,935 |
| 長期貸付金 | 2,526 | 2,128 |
| 退職給付に係る資産 | 962,148 | 1,001,354 |
| 繰延税金資産 | 428,348 | 494,392 |
| その他 | 983,575 | 1,001,649 |
| 貸倒引当金 | △2,320 | △2,320 |
| 投資その他の資産合計 | 10,279,650 | 9,170,141 |
| 固定資産合計 | 37,522,987 | 38,742,463 |
| 資産合計 | 102,641,484 | 112,265,245 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,075,715 | 22,777,559 |
| 電子記録債務 | 521,101 | 773,032 |
| 短期借入金 | 6,769,296 | 8,109,825 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 488,174 | 408,041 |
| リース債務 | 14,444 | 9,701 |
| 未払法人税等 | 480,704 | 949,651 |
| 賞与引当金 | 726,155 | 866,153 |
| 役員賞与引当金 | 97,774 | 47,067 |
| その他 | 2,235,955 | 2,503,029 |
| 流動負債合計 | 31,409,322 | 36,444,060 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,566,512 | 2,862,158 |
| リース債務 | 20,774 | 24,782 |
| 繰延税金負債 | 1,469,124 | 1,293,489 |
| 役員株式給付引当金 | 171,386 | 181,812 |
| 退職給付に係る負債 | 1,136,730 | 1,267,293 |
| 資産除去債務 | 330,880 | 333,311 |
| その他 | 88,252 | 91,012 |
| 固定負債合計 | 5,783,661 | 6,053,861 |
| 負債合計 | 37,192,984 | 42,497,921 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,514,018 | 8,514,018 |
| 資本剰余金 | 6,597,580 | 6,597,580 |
| 利益剰余金 | 38,200,822 | 39,861,296 |
| 自己株式 | △466,193 | △431,417 |
| 株主資本合計 | 52,846,228 | 54,541,478 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,255,441 | 3,433,946 |
| 為替換算調整勘定 | 563,069 | 2,766,919 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 97,331 | 100,497 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,915,842 | 6,301,363 |
| 非支配株主持分 | 7,686,429 | 8,924,482 |
| 純資産合計 | 65,448,500 | 69,767,324 |
| 負債純資産合計 | 102,641,484 | 112,265,245 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 50,965,196 | 59,527,087 |
| 売上原価 | 41,901,027 | 49,656,957 |
| 売上総利益 | 9,064,168 | 9,870,130 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,988,081 | 6,371,283 |
| 営業利益 | 3,076,087 | 3,498,846 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13,135 | 16,867 |
| 受取配当金 | 101,299 | 117,758 |
| 為替差益 | 70,498 | 431,667 |
| その他 | 140,064 | 67,036 |
| 営業外収益合計 | 324,997 | 633,330 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 56,066 | 62,479 |
| 貸与資産減価償却費 | 18,013 | 10,388 |
| その他 | 19,167 | 19,140 |
| 営業外費用合計 | 93,246 | 92,009 |
| 経常利益 | 3,307,838 | 4,040,167 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 474 | 833 |
| 投資有価証券売却益 | 62,587 | 4,058 |
| 特別利益合計 | 63,061 | 4,892 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 6 | - |
| 固定資産除却損 | 2,026 | 836 |
| 特別損失合計 | 2,032 | 836 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,368,867 | 4,044,223 |
| 法人税等 | 881,239 | 1,076,189 |
| 四半期純利益 | 2,487,627 | 2,968,033 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 349,806 | 590,259 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,137,821 | 2,377,774 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,487,627 | 2,968,033 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 64,110 | △821,822 |
| 為替換算調整勘定 | 863,152 | 3,405,669 |
| 退職給付に係る調整額 | 24,800 | 3,165 |
| その他の包括利益合計 | 952,063 | 2,587,012 |
| 四半期包括利益 | 3,439,691 | 5,555,046 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,803,411 | 3,763,295 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 636,279 | 1,791,751 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,368,867 | 4,044,223 |
| 減価償却費 | 1,703,766 | 1,715,539 |
| のれん償却額 | 100,727 | 727 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 69,568 | 122,267 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △33,278 | △50,707 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △497 | 326 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 23,394 | 31,937 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | 11,012 | 10,426 |
| 受取利息及び受取配当金 | △114,435 | △134,626 |
| 支払利息 | 56,066 | 62,479 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △62,587 | △4,058 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △467 | △833 |
| 有形固定資産除却損 | 2,026 | 836 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,233,230 | △418,904 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △3,150,287 | △1,957,721 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,576,886 | 1,610,512 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △172,119 | 98,920 |
| その他 | △332,283 | △177,475 |
| 小計 | 2,813,127 | 4,953,870 |
| 利息及び配当金の受取額 | 115,237 | 134,972 |
| 利息の支払額 | △60,581 | △61,331 |
| 法人税等の支払額 | △952,303 | △535,902 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,915,479 | 4,491,609 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △13,077 | △18,260 |
| 定期預金の払戻による収入 | 13,077 | 18,078 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,161,687 | △1,663,089 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 506 | 1,039 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △121,573 | △83,248 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △246 | - |
| 投資有価証券の売却による収入 | 151,314 | 38,023 |
| 貸付金の回収による収入 | 12,005 | 258 |
| その他 | 47,545 | 21,278 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,072,136 | △1,685,921 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 144,337 | 808,819 |
| 長期借入金の返済による支出 | △271,184 | △264,402 |
| リース債務の返済による支出 | △11,769 | △9,124 |
| 自己株式の取得による支出 | △22 | △70 |
| 配当金の支払額 | △769,149 | △699,220 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △624,815 | △548,534 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,532,603 | △712,532 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 247,562 | 780,606 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △441,698 | 2,873,761 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 21,080,770 | 20,677,303 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 20,639,071 | 23,551,064 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

(1) 株式給付信託 (BBT)

当社は、2016年6月24日開催の第87回定時株主総会決議に基づき、業務執行をする取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員が、中長期的な業績の向上及び企業価値の増大に貢献する意識を高め、業務執行をしない取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び監査等委員である取締役が、監督または監査を通じた中長期的な企業価値の増大に貢献することを目的として、新たな株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を2016年9月14日より導入しております。

①取引の概要

当社グループは、あらかじめ定めた役員株式給付規程に基づき、取締役等（取締役及び執行役員）に対しポイントを付与し、退任時に受益者要件を満たした者に対し、付与されたポイントに相当する当社株式を給付いたします。給付する株式については、あらかじめ当社が拠出した金銭により信託銀行が将来給付分も含めて第三者割当による自己株式を譲受し、信託財産として分別管理しております。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末276,412千円、601千株、当第2四半期連結会計期間末270,072千円、587千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(2) 株式給付信託(従業員持株会処分型)

当社は、2017年5月24日開催の取締役会の決議により、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

①取引の概要

本制度は、「リケンテクノス従業員投資会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象に、当社株式の株価上昇メリットを還元するインセンティブ・プランです。

信託の設定後5年間にわたり持株会が取得する見込みの当社の当社株式を、本制度の受託者である信託銀行が予め一括して取得し、持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。信託終了時まで、信託銀行が持株会への売却を通じて本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、それを残余財産として受益者適格要件を充足する当社従業員持株会会員に分配します。また当社は、信託銀行が当社株式を取得するための借入に対し保証をしているため、信託終了時において、当社株価の下落により当該株式売却損相当の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末189,711千円、372千株、当第2四半期連結会計期間末161,204千円、316千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第2四半期連結会計期間末164,870千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | TR | DH | EL | BC | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 15,587,132 | 13,097,080 | 10,102,954 | 12,133,493 | 50,920,661 | 44,534 | 50,965,196 | — | 50,965,196 |
| 外部顧客への 売上高 | 15,587,132 | 13,097,080 | 10,102,954 | 12,133,493 | 50,920,661 | 44,534 | 50,965,196 | — | 50,965,196 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | 25 | — | — | 25 | 140,141 | 140,167 | △140,167 | — |
| 計 | 15,587,132 | 13,097,106 | 10,102,954 | 12,133,493 | 50,920,686 | 184,676 | 51,105,363 | △140,167 | 50,965,196 |
| セグメント利益 | 1,203,914 | 1,008,027 | 205,896 | 598,894 | 3,016,732 | 17,563 | 3,034,296 | 41,790 | 3,076,087 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去41,790千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | TR | DH | EL | BC | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 17,661,770 | 16,219,685 | 12,022,849 | 13,581,023 | 59,485,329 | 41,758 | 59,527,087 | — | 59,527,087 |
| 外部顧客への 売上高 | 17,661,770 | 16,219,685 | 12,022,849 | 13,581,023 | 59,485,329 | 41,758 | 59,527,087 | — | 59,527,087 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | 156,647 | 156,647 | △156,647 | — |
| 計 | 17,661,770 | 16,219,685 | 12,022,849 | 13,581,023 | 59,485,329 | 198,405 | 59,683,735 | △156,647 | 59,527,087 |
| セグメント利益 | 1,726,904 | 497,030 | 542,607 | 668,388 | 3,434,930 | 20,206 | 3,455,136 | 43,710 | 3,498,846 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去43,710千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。